

私の日本滞在記

著者：ジェニファー ストーン

〈名古屋大学大学院理学研究科素粒子宇宙物理学専攻 Ta 研 〒464-8602 名古屋市千種区不老町〉



和訳：鈴木 建

〈天文月報編集委員会〉

e-mail: stone@nagoya-u.jp

2011年9月より、名古屋大学Ta研のポスドク研究員としてやって来ました。私の研究題目は、磁場の影響を含む多相星間媒質の動力学です。本稿では、私がなぜ日本にやって来たのかということや、これまで半年と少し日本に住んでみた日本の印象について書こうと思います。

私の祖国であるスコットランドのセントアンドリュース大学を卒業後、ウィスコンシン大学で天文学の博士の学位を取るために、アメリカで大学院に進みました。アメリカにいる間は、次はどこに行き何をしようといういろいろと考えつつも、多分このまま暫くアメリカに残るか、イギリスに戻るかするのだろうかなど何となく想像していました。そんなわけなので、一ももちろんずっと日本を旅行したいとは思っていましたが一まさか日本に住んで働くことになるなんて、想像もしていませんでした。

運命の転機は、2010年12月に訪れました。奈良で開催された磁気リコネクション研究会で、私の当時の指導教員であったEllen Zweibelさんと、現在の受け入れ教員である犬塚さんが、偶然議論したのです。私の博士論文は、多相星間媒質の磁気流体的特質に関する研究でしたが、これは過去の犬塚さんらの研究成果に立脚するものです。当時と現在のポスがわれわれの共通の研究課題について議論し、そこから話は展開し、その次の年の2月名古屋大学に招聘していただきました。それは私にとって初めての日本でしたが、たいへん刺激的で生産的な2週間の滞在でした。ポ



図1 休日の一コマ；鯉に餌やり

スドク研究員として再び日本に戻って来ることを決めるのは、簡単なことでした。

もちろん、私が日本に来た最大の動機は、違う国の研究環境での経験を積みたいということにあります。物理素過程を詳細に解析し、その結果を宇宙の諸天体に応用するというのが私の好きな研究スタイルですが、これはまさに名大Ta研のメンバーが推し進めている研究手法でもあります。そんなわけで、私にとってピッタリの研究室にやって来たと感じています。しかし研究生活だけでなく、普通の旅人が経験できないぐらい深く日

本文化にどっぷりと浸かり、日本の伝統と生活様式を学んでいきたいとも思っています。また同時に、私の故郷である英国と日本に何か共通点が見いだせるのかということにも興味があります。

西欧の教育では、少しだけですが日本の伝統文化について学びます。例えば、武士道を貫く侍、力持ちな相撲取り、そして目元涼しき秀麗な芸者などです。それと同時にポップカルチャーの「カラオケ」、「マンガ」、「アニメ」などは普段使う外来語になっています。日本に来る前は、古いものが新しいものにとって変わられるように、古き良き日本と現代の高性能な日本は、お互い相容れないものなのだろうと想像していました。しかし、古きものと新しきものは実際どうやら共存できているように思えます。忙しくせわしない都市の堂々たる摩天楼から、落ち着いた庭やお寺まである日本は、美しい対比の国だと感じています。日本人は、将来への野望を抱く勤勉な人々であると同時に、常に過去の伝統を重んじ、自らの来し方に敬意を払っています。せわしなく混雑した繁華街を歩き回っていると突然、繁華街のきらびやかな光に取り囲まれた小さなお寺に遭遇することがありますが、そんなとき何とも法悦な気持ちになります。

外国に移住するとしばしば文化的な差異から、遠く離れた地に居ることに混乱したり、時には故郷に帰りたくなったりすることがあります。当初、イギリスと日本は女王か天皇がいる島国で左側通行を採用しているということ以外、共通点はほとんどないように思いました。だから日本に慣れるには長い期間が必要で、その間には困難で寂しい経験をする覚悟が必要だろうと思っていました。しかしこれまでの日本での経験はとても幸せなもので、半年以上を経た現在、日本によく馴染んできたように感じています。日本にはたくさん

の素晴らしいものがあります。おいしい食事、驚くほど美しい景色や魅力的な文化などです。しかしそのなかでも特に素晴らしいと思うのは、歓待の心をもちフレンドリーで親切な日本人の人々です。礼儀正しく親切であろうとする日本人の気質は、イギリス人とよく似ていると思います。そのなかでも特にマナーの良さと謙虚さは特筆に値します。最近では、自分の所属する研究室メンバーを家族のように感じています。私が日本のことをよく知るために、そして日本語がわからなくて困っているときに、彼らはいつも助けてくれます。とても感謝しています。日本に居る間に素晴らしい研究を仕上げ、日本のいろいろなものを見聞きし、セミナーで日本語の発表ができるぐらい日本語をしゃべることができるようになりたいと思います！

(訳者注. 英語原文からの直訳ではなく、意識されている部分があります.)

My Japanese Journey

Jennifer STONE

Ta Lab, Department of Physics, Graduate School of Science, Nagoya University, Furo-cho, Chigusa-ku, Nagoya 464-8602, Japan

Abstract: In September 2011 I became a postdoctoral research fellow in the Laboratory for Theoretical Astronomy and Astrophysics (Ta Lab) of the Physics Department at Nagoya University. My research interests are in the multiphase dynamics of the interstellar medium, including the effects of magnetic fields. In this article I describe why I came to Japan and my impressions so far.